

令和3年度 中学校区合同学校運営協議会 議事録

- 【日 時】 令和3年12月6日 13:15~14:50
【場 所】 日比中学校 会議室
【出席者】 協議会委員 19名 3校校長・教頭 6名 計25名

○授業参観



○開会挨拶（三浦会長）

学校はコロナ禍で活動を見直している。また、玉野市は中学校区一貫教育校園を掲げている。我々がどのように協力していけばよいか議論し、我々にできることを協力していきたい。

○自己紹介

【協議内容】

- 1) 授業を参観した感想
- 2) 日比中学校区の子どもたちにどんな子どもに育ててほしいか



○3グループで協議後、グループで出した意見を教頭が全体に発表

- 1 グループ：人数が多い1年生の指導はしにくいだろう。学習規律を身に付ける、同じ基準で叱るなど、指導の工夫が必要。小学校では、中学校に送り出すときに、どんな力を身に付けさせればいいのか考えさせられた。
- 2 グループ：落ち着いて学習に取り組んでいるが、部活が減っている中、エネルギーを分散させ、自分を出せる場所はあるのか。タブレットは、将来役に立つが、読書が減ってきているのでは。
- 3 グループ：学習環境面では、机の狭さが気になった。教師と生徒がフレンドリーなのはいいが、社会に出て大丈夫なようにいい形で伸ばしていきたい。中学校でも、

もっと地域との関わりがもてるとよいのでは。

○学校から

第二日比小学校：コロナ禍で運動会を見直し、子どもと保護者にとって満足できるものになった。アフターコロナの時代がきても、この考え方で取り組んでいきたい。

日比中学校：コロナ禍で修学旅行の形を変えたが、生徒は満足していた。



○三浦会長：今まで当たり前だったことを学校は見直しをして、よりよいものにしようとしている。各行事は、学校と子ども、保護者にとってよりよくあるべき。来賓も今後も呼ばなくてもよいのではないか。

地域は学校のことをよく知らない。何かあったら、運営委員で学校が頑張っていることを伝えよう。

○閉会挨拶（四宮会長）

子どもの心の闇から起こった悲しいニュースに考えさせられた。本日こうして中学校区で集まったことを契機に、今後も中学校区で協力して子どもたちを見守っていこう。

